



平成 23 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社キトー  
代 表 者 名 代表取締役社長 鬼頭 芳雄  
コード番号 6409 (東証 第一部)  
問 合 せ 先 専務取締役 専務執行役員 野村 博  
経営管理本部長  
TEL : 03-5371-7345

### 処分価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 18 日開催の当社取締役会において決議いたしました自己株式の処分及び当社株式の売出しに関し、処分価格及び売出価格等を下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 公募による自己株式の処分 (一般募集)

(1) 処分価格 (募集価格)	1 株につき	77,664 円
(2) 処分価格の総額		444,005,088 円
(3) 払込金額	1 株につき	73,619 円
(4) 払込金額の総額		420,879,823 円
(5) 申込期間	平成 23 年 3 月 1 日 (火) ~平成 23 年 3 月 2 日 (水)	
(6) 払込期日	平成 23 年 3 月 7 日 (月)	
(7) 受渡期日	平成 23 年 3 月 8 日 (火)	

(注) 引受人は払込金額で買取引受けを行い、処分価格 (募集価格) で募集を行います。

#### 2. 当社株式の売出し (引受人の買取引受けによる売出し)

(1) 売 出 価 格	1 株につき	77,664 円
(2) 売 出 価 格 の 総 額		1,835,666,304 円
(3) 引 受 価 額	1 株につき	73,619 円
(4) 引 受 価 額 の 総 額		1,740,058,684 円
(5) 申 込 期 間	平成 23 年 3 月 1 日 (火) ~平成 23 年 3 月 2 日 (水)	
(6) 受 渡 期 日	平成 23 年 3 月 8 日 (火)	

(注) 引受人は引受価額で買取引受けを行い、売出価格で売出しを行います。

#### 3. 当社株式の売出し (オーバーアロットメントによる売出し)

(1) 売 出 株 式 数		4,402 株
(2) 売 出 価 格	1 株につき	77,664 円
(3) 売 出 価 格 の 総 額		341,876,928 円
(4) 申 込 期 間	平成 23 年 3 月 1 日 (火) ~平成 23 年 3 月 2 日 (水)	
(5) 受 渡 期 日	平成 23 年 3 月 8 日 (火)	

ご注意：この文書は、自己株式の処分及び株式の売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する自己株式処分並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分 (作成された場合) をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

#### 4. 第三者割当による自己株式の処分

(1) 払込金額	1株につき	73,619円
(2) 払込金額の総額(上限)		324,070,838円
(3) 申込期日		平成23年3月29日(火)
(4) 払込期日		平成23年3月30日(水)

#### <ご参考>

##### 1. 処分価格(募集価格)及び売出価格の算定

(1) 算定基準日及びその価格	平成23年2月28日(月)	80,900円
(2) ディスカウント率		4.00%

##### 2. シンジケートカバー取引期間

平成23年3月3日(木)から平成23年3月25日(金)まで

##### 3. 今回調達資金の使途

今回の一般募集及び本件第三者割当による自己株式の処分の手取概算額合計上限729,950,661円について、579,950,661円を平成24年3月末までに設備資金に、150,000,000円を平成24年3月末までに平成22年9月に実施したインドの中堅クレーンメーカーである Armsel 社の買収に係る借入金の返済資金の一部にそれぞれ充当する予定であります。

当社は、総合ホイストメーカーとしての品揃え及びクレーンシステムの拡充を進めるとともに、商品の需要地の構成に即したグローバル生産体制を確立し、製造原価の低減と利益率改善を実現するグローバルサプライチェーンを構築するため、山梨本社工場を各生産拠点の指導、スキル育成並びに新技術及び新製品の研究開発を担うグローバルスキルセンターとすることを目的として、山梨本社工場の整備、増強を進めるための設備計画を、平成23年1月に新たに策定いたしました。設備資金については、山梨本社工場における(A)新製品の生産及び標準製品の生産能力拡大、(B)生産効率の向上、(C)維持更新投資に充当する予定であります。

具体的には、(A)については、新製品の量産化に伴う金型、加工設備、付帯設備に194,000,000円、標準製品のモデル追加に伴う金型、加工設備に168,000,000円、標準製品に組み込まれるチェーンの生産ラインの増設、及び標準製品の専用検査機の増設等による生産能力増強に45,000,000円、生産拠点のグローバル分散化に伴う金型、付帯設備に16,000,000円、外製工程の内製化に伴う専用検査機、金型、付帯設備に30,000,000円、合計453,000,000円を予定しております。(B)については、標準製品の加工費のコストダウンを目的とした加工設備、付帯設備、品質安定化を目的とした外注仕入先の変更に伴う金型に66,000,000円を予定しております。(C)については、老朽化設備の更新・修理等に950,661円、環境対応・省エネルギー化を目的とした設備更新に60,000,000円、合計60,950,661円を予定しております。

Armsel 社買収に係る借入金については、平成22年9月30日に600,000,000円を借入れ、平成22年12月31日現在の借入金残高は570,000,000円(1年以内返済予定の長期借入金120,000,000円を含む。)になっております。調達資金による返済は、平成23年3月、6月、9月、12月及び平成24年3月に各々30,000,000円を予定しております。

以上

ご注意：この文書は、自己株式の処分及び株式の売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する自己株式処分並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。